

事業事業名		漁業集落排水施設維持管理事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業									
政 策 体 系	政策名	自然豊かな環境の保全と創造 0 2			事業期間		予算科目									
	施策名	良好な河川・港環境の保全 0 4			<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計 17	款 01	項 01	目 01	事業 02					
	基本事業名	公共下水道等の整備 0 1			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成元 年度～)											
	根拠法令	水質汚濁防止法、浄化槽法、漁業集落排水施設設置管理に関する条例・施行規則			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】  年度～ 年度											
所 属	部課名	都市整備部下水道事業所			 ※全体計画欄の総投入量を記入		全体計画(※期間限定複数年度のみ)									
	課長名	千葉 謙			総 投 入 量 (千 円)	財 源 内 訳	国庫支出金									
	係 名	業務係	電話	0192-27-3111			都道府県支出金									
	担当者						地方債									
							その他									
							一般財源									
							事業費計(A)									
							正規職員従事人数									
							延べ業務時間									
							人件費計(B)									
							トータルコスト(A)+(B)									
							0									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

前年度と同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然资源等

② 対象(誰、何を対象にして)

③ 章図(二)の事業によって、封角はどう変えるのか?

③ 息図(この事業によって
施設を適正に維持管理する

④ 結果(基本事業の章図・上位の基本事業にどのように貢献するのか)

④ 結果、基本事業の意図・主任の基本事業にどのように貢献
港湾・河川への環境負荷を軽減し、公共用水域の水質を保全する。

(2) 総事業費・指標等の推移			年度 単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
投 入 量	事 業 費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	6,630	18,637	26,287	29,880	29,195	29,000
		一般財源	千円						
	人 件 費	事業費計(A)	千円	6,630	18,637	26,287	29,880	29,195	29,000
		正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	180	180	180	180	180	180
		人件費計(B)	千円	720	720	720	720	720	720
		トータルコスト(A)+(B)	千円	7,350	19,357	27,007	30,600	29,915	29,720
⑤活動指標	ア	件	8	5	3	3	4	4	4
	イ	m3	365.4	433.8	820.8	822.6	823	823	823
	ウ								
⑥対象指標	カ	箇所	5	5	5	5	5	5	5
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	件	9	11	20	19	2	2	2
	シ	日	0	0	0	0	0	0	0
	ス	件	0	0	0	0	0	0	0

事務事業ID	0706	事務事業名	漁業集落排水施設維持管理事業
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 大船渡市の基幹産業である水産業を良好な水質で行うため、また、トイレの水洗化などによって衛生的な環境を作り、地域住民の保健衛生に寄与する。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 漁業集落排水施設の増加、利用者の増加、対象エリアの拡大			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 住民から、住環境と生活の糧となる周辺海域の水質の向上に繋がっているとの声がある。			
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	⇒【理由】➡ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ⇒【理由】➡ 漁業集落排水施設を維持管理することで、公共水域の水質の保全が図られる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	⇒【理由】➡ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ⇒【理由】➡ 法律等によって定められている。「大船渡市漁業集落排水施設設置管理に関する条例」等
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】➡ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ⇒【理由】➡ 漁業集落排水施設の維持管理事業において、維持管理の業務を委託しており、放流する水質面、衛生面でも良好な状態が保たれており、現状のままでよい。
有効性評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	⇒【理由】➡ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ⇒【理由】➡ 放流水の透視度、BODともに基準値内であり、これ以上の成果の向上はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】➡	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 同地域には、多くの住民が居住しており、漁業集落排水施設の維持管理がなされなくなると、施設の正常な稼動が見込めなくなり、結果汚水などの垂れ流しが発生し、公共用水域の水質の保全が図られない可能性がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	⇒【理由】➡ (具体的な手段、事務事業) 維持管理業務委託等で下水道施設維持管理事業(浄化センター)が類似している。 ⇒【理由】➡ 施設の規模によって施設管理の資格の有無の違いや地元業者の活用等で統廃合・連携等にはなお課題がある。
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	⇒【理由】➡ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ⇒【理由】➡ 広報紙等で汚水の正しい流し方等を周知することにより、施設の故障等を未然に防ぎ経費の削減を図る。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	⇒【理由】➡ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ⇒【理由】➡ すでに、民間業者に保守管理を委託しており、契約時の事務や落雷などの事故の場合を除き、施設管理には携わっていない。管理者として月1回程度の点検を行っている。
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	⇒【理由】➡ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ⇒【理由】➡ 加入負担金、使用料の徴収(水道料金に含まれる形での徴収)をしており、負担は適正である。

事務事業ID 0706

事務事業名

漁業集落排水施設維持管理事業

3 評価結果の総括と今後の方針(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)

① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
④ 公公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

広報紙等で汚水の正しい流し方等を周知し、施設の故障等を未然に防ぎ経費の削減を図ったが、今後も継続の必要がある。

(3) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持
事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)
広報紙等で汚水の正しい流し方等を周知することにより、施設の故障等を未然に防ぎ経費の削減を図る。

(4) 改革・改善による期待成果

左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。

(廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成 果	●		
向 上			
維 持			×
低 下	×	×	×

(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

特になし

4 事務事業の2次評価結果

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

2次評価者 下水道事業所長 千葉 譲

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- 記述不足でわかりにくい
- 一部記述不足のところがある
- 記述は十分なされている

②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- 一部に客観性を欠いたところがある
- 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
④ 公公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

災害復旧後、放流水の高水準の水質を維持しており、適切な処理が行われているが、維持管理費が大幅に増加しており、更なる効率化が求められる。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持
事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)
現状どおりの処理水準を維持しつつ、計画的な修繕や省エネの徹底等により事業費の圧縮に努めると共に、発注方法の見直し等、効率的な維持管理のあり方について検討を進める。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。

(廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成 果	●		
向 上			
維 持			×
低 下	×	×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項